

バランスシートで分かる 市の資産と負債

市の財政状況を市民の皆さんに分かりやすく知っていただくために、平成十二年度の決算に基づいて「大館市のバランスシート」を作成しました。

バランスシート(貸借対照表)は、学校、福祉施設、道路、橋などの資産とそのため必要となったお金を対比して市全体の資産価値や負債を示したものです。

これにより、今までの単年度の歳入歳出決算(お金の使い方)では分からなかったすべての資産や負債などの蓄積状況を把握できます。また、平成三年度のバランスシートも作成し、十年前との比較もできるようにしました。

「ここ」では、バランスシートの概要についてお知らせします。

貸 方

負債

借入金(地方債)

2年度 133億2千万円
12年度 260億1千万円

学校、道路などを建設するための財源として、市が銀行や国などに借入しているお金の残高です。

退職給与引当金

2年度 32億6千万円
12年度 45億9千万円

市職員が年度末に全員退職した場合の退職金。実際、今支払うものではありませんが、将来発生するものとして負債に計上しています。

負債合計

2年度 165億8千万円
12年度 306億円

正味資産

国、県の補助金、資産形成に使った一般財源

2年度 316億5千万円
12年度 520億9千万円

学校や道路などを建設するために使ったお金のうち、国や県から補助金としてもらったものや、市税など市のお金の総額です。

負債・正味資産合計

2年度 482億3千万円
12年度 826億9千万円

◎作成基準

他の地方公共団体と比較できるように次のような国の統一基準により作成しました。

①普通会計を対象

決算統計を基礎数値としていることから、普通会計(一般会計と都市計画事業、土地取得、奨学資金、休日夜間急患センターの4特別会計)を対象としています。

②有形固定資産の評価基準

土地・建物・構築物・機械装置・備品など長期間にわたって使用される資産(有形固定資産)は過去の実際の支出額で評価しています。また、土地については減価償却を行わず、その他については減価償却をした価格で計上しています。

③昭和44年度以降を対象

決算統計が電算化された昭和44年度から平成12年度までを対象とし、作成基準日は各会計年度の最終日(3月31日)とします。

シート(平成2年度、12年度)

市では、市民の皆さんに市の財政状況を理解していただくために、バランスシートを活用するなどより分かりやすい公表を今後も進めます。